

平成 29 年度

安全講習会「チェーンソー入門講座実践編」実施報告書（2）

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	安全講習会「チェーンソー入門講座」 実習：「実践編一立木伐倒」
日時	平成 29 年 9 月 9 日（土） 9：30～16：00
会場	千葉県木更津市笹子の森林（きさらづ里山の会）
出席者	受講生 16 名（12 市町）・講師 2 名・スタッフ 2 名
内容	9：30～12：00 実習：「チェーンソー入門講座・実践編一立木伐倒」 13：00～16：00 実習：「チェーンソー入門講座・実践編一立木伐倒」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏
報告	<p>・安全講習会「チェーンソー入門講座・実践編一立木伐倒」は県内 12 市町から 16 名が参加した。</p> <p>・木村講師の指導で、受け口、追い口等伐倒の手順をおさらいし、チェーンソー扱い時の防護具、防護衣の着用を確認、徒歩で現場に向かった。現場はヒノキが 3m 四方に 4～5 本が密集する森。森に入るにあたり、スズメバチ、アシナガバチへの注意を喚起した。</p> <p>【かかり木とロープ牽引】</p> <p>・一本目の伐倒は、かかり木を予想し、全員で見学した。スローラインを使いロープを掛けた後、受け口、追い口切りへと進行した。ロープ牽引では伐倒できなかったため、フェリングレバーで回しながら伐倒を完了し、枝落とし作業を行った。</p> <p>・一本目が完了すると、8 人ずつ 2 班に分かれ、担当する木を選定し、伐倒作業に入った。</p> <p>【フェリングレバーとくさび】</p> <p>・かかり木処理はフェリングレバー、くさびによる重心移動で伐倒した。</p> <p>【受け口の 45 度】</p> <p>・木村講師は受け口の斜め切り頂点の探り方を指導した。小枝を利用して下切りの両端を結ぶ線を一辺とする正三角形を作り、頂点が 45 度になることを確認した。森にあるものを利用する手法に受講生から驚きの声が漏れた。</p> <p>【伐倒 3 割、枝落とし 7 割】</p> <p>・伐倒完了後、搬出用に 3m で玉切りし、枝落としが始まる。時間、労力ともに伐倒が 3 割、枝落とし 7 割と木村講師が説明した。伐倒、枝落とし、搬出の一連の作業を体験した。</p> <p>・材を下支えしている枝は材を回しながら枝を落とした。木村講師は下に潜る枝落としの危険性に注意を呼び掛けた。</p> <p>【つるの残し方、使い方】</p> <p>・切りすぎた受け口は追い口を高めに設定して、つるに強度を持たせる手順で行った。</p> <p>・かかり木でつるが残っている場合、芯を残すつる切断で伐倒した。</p> <p>【チェーンソーのメンテナンス】</p> <p>・切れの悪くなったチェーンソーは昼休憩時に目立てを行った。</p> <p>・受講生が持参したチェーンソーが白煙を出し始めた。木村講師はオイルの入れ放しを察知した。オイルタンク、燃料タンク、キャブレター等のメンテナンスの不十分さを指摘した。</p> <p>・受講生全員がかかり木処理を体験する実り多い研修が修了した。</p>

添付資料（写真）



挨拶する伊藤副理事長と木村講師



現場のヒノキ林



ロープで牽引



伐倒完了



つるを切断



枝落とし



伐倒方向を確認



フェリングレバーで木回し



受け口を作る



つるを切断



芯を残す斜め切り



16本伐倒で日が入る